



Kitsu Shigakai  
Dayori

# きつき市議会だより

平成25年11月15日発行



2013

11

No.31

表紙写真：昭和34年白鬚田原神社どぶろく祭り



# 議案等審議結果

※案件名は、一部省略し掲載しています。

## 平成25年 第3回 定例会概要

平成25年第3回定例会（9月議会）が9月6日に開会され、9月27日までの22日間の会期で審議されました。  
この9月議会では、35議案（諮問・議員提出議案を含む）及び請願陳情3件が審議され、左記のとおり結果となりました。

### 定例会日程

9月6日(金)  
本会議(開会)

9月10日(火)  
本会議(一般質問)

9月11日(水)  
本会議(一般質問)

9月18日(水)  
決算特別委員会

9月19日(木)  
産業建設常任委員会

9月20日(金)  
厚生文教常任委員会

9月24日(火)  
総務常任委員会

9月27日(金)  
本会議(閉会)

番号	案 件 名	採決結果
〔市長提案議案〕		
73	平成24年度杵築市一般会計歳入歳出決算認定について	認定
74	平成24年度杵築市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
75	平成24年度杵築市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
76	平成24年度杵築市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
77	平成24年度杵築市地域包括支援センター事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
78	平成24年度杵築市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
79	平成24年度杵築市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
80	平成24年度杵築市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
81	平成24年度杵築市特定環境保全公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
82	平成24年度杵築市水道事業会計決算認定について	認定
83	平成24年度杵築市工業用水道事業会計決算認定について	認定
84	平成24年度杵築市立山香病院事業会計決算認定について	認定
85	平成25年度杵築市一般会計補正予算（第2号）	可決
86	平成25年度杵築市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決
87	平成25年度杵築市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決
88	平成25年度杵築市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決
89	平成25年度杵築市地域包括支援センター事業特別会計補正予算（第1号）	可決
90	平成25年度杵築市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決
91	杵築市記号式投票に関する条例の一部改正について	可決
92	杵築市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決
93	杵築市税条例の一部改正について	可決
94	杵築市行政財産使用料条例の一部改正について	可決
95	杵築市国民健康保険税条例の一部改正について	可決
96	杵築市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	可決
97	杵築市定住促進住宅条例の一部改正について	可決
98	杵築市公民館条例の一部改正について	可決
99	立石地区農産物直売所の指定管理者の指定について	可決
100	杵築市公共下水道杵築終末処理場の建設工事委託に関する協定の一部を変更する協定の締結について	可決
101	教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	同意
102	公平委員会の委員の選任につき同意を求めることについて	同意
〔諮問〕		
5	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意
6	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意
〔議員提出議案〕		
8	「山の日」の制定を求める意見書	可決
9	地方税財源の充実確保を求める意見書	可決
10	森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書	可決
〔請願陳情〕		
5	向屋敷道の市道編入について	採択
6	市道の認定について	採択
7	住宅背後地の山林崩壊防止について	採択

## 請願陳情第5号

付託委員会 産業建設常任委員会  
行政区 口の尾・浄土寺区（山香地域）



[内容]

### 向屋敷道の市道編入について

向屋敷道（延長約500m・幅員4m）を市道口の尾より目久保・下切へのバイパス道路として、橋が崩壊したときの緊急避難道路、また農道としても必要であるため、市道として編入してもらいたいとの要望です。



## 請願陳情第6号

付託委員会 産業建設常任委員会  
行政区 大左右区（杵築地域）



### [内容] 市道の認定について

農業用として区民が利用している里道（延長約200m・幅員約2m）がある。近年農業用機械の大型化に伴い、幅員の拡張が求められるが、今年度からの市道拡幅工事の対象外となっている。市道狭小部分の迂回路としても、拡幅が必要である。

今年度からの市道拡幅工事を契機に、関係者及び区民の拡幅に対する機運も高まり、市道認定のための必要な拡幅分の土地は区が責任を持って提供のうえ、拡幅工事の資材を提供を受ければ、区で工事を施工するので、市道として認定してもらいたいとの要望です。



## 請願陳情第7号

付託委員会 産業建設常任委員会  
行政区 鍛冶屋区（山香地域）



[内容]

### 住宅背後地の山林崩壊防止について

現地の住宅地は、県砂防河川鍛冶屋川と崩壊の危険がある急傾斜地（山林）に挟まれた地帯であり、大雨等の際には常に避難準備または状況に応じて区民は自主避難をしている。

現地を検証し、早期の防止策を講じてもらいたいとの要望です。



## 議案の賛否一覧表

※議案等に対して、「賛成」か「反対」の意見が分かれたものを掲載しています。

議案番号	議 案 等 名	結 果	表決数	議員名（議席番号順）																		
				1	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
				阿部	藤本	西原	岩尾	阿部	加来	井門	渡辺	中山	西	堀	河野	阿部	河野	小春	真砂	有田	富来	
				幸市	治郎	繁朝	育郎	長夫	喬	仙一	雄爾	田昭徳	紀子	寿満	有二郎	直瑞	正治	稔	矩男	昭二	征一	
議案第 73 号	平成 24 年度杵築市一般会計歳入歳出決算認定について	可決	15 対 2	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	/	
議案第 85 号	平成 25 年度杵築市一般会計補正予算（第 2 号）	可決	15 対 1	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	/	
議員提出議案 第 9 号	地方税財源の充実確保を求める意見書	可決	15 対 2	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	/	

○[賛成]    ×[反対]    欠[欠席]    —[退席]    議長は除く



# 一般質問

Q & A



平成25年第3回市議会定例会では、9月10日から11日までの2日間にわたり、市政に関する一般質問が行われ、7名の議員が諸問題について質問しました。

(一般質問した議員が原稿を作成し、基本的にその原稿を尊重して編集しています。)



渡辺雄爾議員

## 干害対策について

**問**

梅雨明けの7月以降まとまった雨が降らず、農家の方々は大変苦勞をしてきた。特に稲作では8月になってからほとんど雨が降らず、一番水が必要な時期に足りないために、大きな被害がでるのではないかと危惧されていたが、市ではこのような状況の中、干害に対する調査は行ったのか。

**答**

渇水の状態が長く続いた場合の対応を県と協議しながら準備を進めてきたが、8月24日以降に降雨があり、一安心したところである。

**問**

水不足解消のための取組みについて市では農家が水利を確保するための何らかの助成制度があるか。

**答**

5ミリ以上の雨が20日降らなかった場合で農地施設に甚大な被害が出た場合は、国県の事業で実施する助成制度がある。

**問**

国県などの補助をもらう干ばつ災害復旧事業ではなく市の独自の助成はないのか。

**答**

現在これに対する市の事業はない。

**問**

近年、異常気象や気候の変動が大変多くなっている。小規模干害被害に対する市単独補助事業を今後

考えていただきたい。

**答**

干害に対する全体的な取組みを考えていきたい。

## 久木野尾立線道路改良について

**問**

早期着工はできないか。

**答**

平成23年度に概算設計を行い、昨年の24年度から測量、詳細設計を実施中であり、今年度は用地測量を実施する予定である。そして平成26年度に用地買収を行ない、その後工事にかかりたい。

**問**

2車線の道路を要望しているが、1.5車線の道路になると聞いている。どうなっているのか。

**答**

改良区間は交通量が少ないことや改良区間内に家屋が少ないとの理由で家屋が連続する箇所や急カーブの箇所は2車線。その他の幅員の狭い箇所は5メートルで拡幅するといいうわゆる1.5車線の改良となることである。

**問**

宇佐土木管内が2車線でできている。別府土木管内にも2車線の要望をしているので強く要望してもらいたい。

**答**

今後も地元と一緒に粘り強く大分県別府土木事務所の方には宇佐のように2車線になるように要望していきたい。



中山田昭徳議員

## 図書館建設用地について

**問** 教育長は、3月議会・6月議会の一般質問で「早急に決定する」と答弁したが、未だに場所の決定がされていない。6月議会以降どのような検討をし、今に至っているのか。

**答** 教育委員会は、市民の要望と新図書館建設策定委員会の答申を踏まえ、敷地面積、交通アクセス等を考慮し、旧消防本部用地及び周辺市有地が建設場所にふさわしいと決定した。

**問** 市長は、「教育委員会が決めれば、私が決断する」と答弁していたが、

**答** 旧消防本部の周辺市有地に農業委員会と土地改良区事務所があるが、旧スカヤの建物に当分の間は移ってもらう交渉を重ねてきた。両団体の皆様には何かとご心配をかけているが、そのような方向で進めさせていた。旧消防本部は今年度中に壊して、文化財調査等もしなければならぬ。新図書館用地は旧消防本部と周辺地域ということで決定する。

## 教育立市宣言について

**問** 教育長の並々ならぬ決意で「教育立市宣言」を掲げたと聞いているが、なぜ今、教育立市宣言なのか。宣言と教育長の教育にかける思いについて聞きたい。

**答** 就任した平成23年度時点、県の学力定着調査の結果が、ABCの3段階で小中学校ともにC段階であった。また各学校では教師が子どもの理解を確認せずに進めている授業も見受けられ、授業規律に課題のある学級を抱えた学校もあった。このような実態のなかで、学校改革、授業改善の必要を強く感じ、市内全ての学校で授業に主眼を置いた改革を進めてきた。また、人づくりを学校だけに任せるのではなく、家庭と学校、家庭と地域、学校と地域が手を携え、市全体で、市民総意で子どもたちの教育を推進するため、教育立市宣言をさせていただいた。今後、地域に開かれた学校、信頼される学校づくりが益々求められる。我がまち杵築の伝統と文化を大切に、故郷を愛する教育を目指していく。教育立市宣言の趣旨を十分に活かす学校教育をはじめ、社会教育、スポーツ振興に取り組んでいかなければならないと考えている。

KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



西 紀子議員

## 熱中症対策について

**問** 猛暑に対しての熱中症対策と市民の健康を守るうえから市の啓発の取り組みは。また学校施設にミストシャワーの設置。公共施設を開放し、涼み処や憩い処の開設を。

**答** 熱中症に対する啓発を6月より始め、市報やケーブルテレビにて注意の呼びかけやチラシの配布。7月、8月の山香病院だよりでは熱中症の症状や対策、予防について掲載。ケーブルテレビでは、保健師より予防や対処法を説明。8月までは文字放送にて広報。チラシ6,000枚を用意し、地域巡回健診等で配布。また乳幼児向けのチラシも乳幼児健診や訪問、相談会で配布した。高齢者には高齢者施設に注意喚起を行い、民生児童委員の方に見守りと呼び掛けた。公共施設の開放として、市庁舎、地区公民館、生涯学習館等、一時避難所にコーナーを設け、のぼり旗等を表示したい。学校へのミストシャワー設置については設置している自治体の検証結果を参考にしたい。教育環境の改善として普通教室のエアコン導入も段階的に実施をしたい。

## 防災士養成研修について

**問** 東日本大震災を機に自主防災組織の活性化を目的に地域防災リーダーの育成に取り組んでいるが「防災士」の養成研修に職員や女性の有資格者の拡充を。

**答** 杵築市の防災士有資格者は55名、うち女性4名。一自主防災組織に1名の防災士を養成したい。職員については申込み者が少ない場合は声をかけるが、区から推薦があった方を優先したい。申込み状況をみて、女性団体等にも声をかけたい。防災士の研修については、協議会、研修会を積極的に開催したい。

## 食物アレルギーの事故防止について

**問** 東京都調布市の市立小学校で食物アレルギーを持つ児童が給食後に死亡するという痛ましい事故が起きた。杵築市での食物アレルギーを持つ児童生徒に対する対応策は。また重篤な症状であるアナフィラキシーショックが出た場合、自己注射液「エピペン」も使用するかどうかの研修等はしているのか。

**答** 食物アレルギーの対応マニュアルに基づき対処をしている。特に入学前に全保護者に対して文書を配布し、食物アレルギー対応給食の必要なときは保護者、学校、栄養職員での面接を行い、状況の把握と情報の共有をしている。エピペンについては学校保健会が研修会を開催した。今後担任の方に対する学習機会をつくっていききたい。





阿部直瑞議員

### 災害復旧について

**問** 昨年度、農地や水路などの災害件数は何件あったのか。復旧工事の進捗状況は。

**答** 農地で160件、農業用施設で144件の合計304件、総事業費3億9,700万円。6月の田植えまでに約90%の工事が終わっている。現場の条件で工期を11月までとした現場も残っている。

**問** 災害復旧工事の場合、元の姿に戻すだけであるが、地元ではその際に改良を加えてとの要望があるが。改良及び改善のための復旧工事は認められていない。

### 難聴者用磁気ループについて

**問** 「難聴者のために公共施設に磁気ループをつけるように」との質問をした際に「調査のうえ検討する」との答弁であったが、調査の結果は。公共施設を新たに建設する場合、要望していききたい。

**答** 簡単に移動ができる機器があるので購入すべきだ。

### 市営住宅について

**問** 更地のまま放置されているが、高齢者や低所得者向けの市営住宅の建設計画はどうなっているのか。

**答** 高齢者を含む低所得者対象の公営住宅の建設をしたいと考えている。

**問** 平成27年度から具体化するとの答弁であるが、前倒しできないか。

**答** 計画を立て、27年度ごろに実施していきたい。

### 体罰について

**問** 文部科学省は2012年度、体罰をした教員の人数を発表した。全国では6,721人。大分県内では185校で382人。長崎県の452人に次いで2番目に多い県だ。深く広く体罰を容認する根拠があるのではないか。

**答** 体罰は行き過ぎた指導ではなく暴力であるとの認識のもと、体罰によらない指導の確立を目指して取り組んでいる。

**問** なぜ学校現場に体罰が残っているのか。これは近代日本の遺物である。大正末期から学校に軍事教練が課された。過激なしごきは太平洋戦争中の国民学校の時代に頂点。戦後、軍隊は消えたが暴力的な指導は伝統として学校に残ってしまった。戦前の悪しき遺産を学校現場でなくさなければならぬ。教員の勤務時間が長くなっている。色々な面で負担が増えているのではないか。

**答** 体罰は教職員の多忙が原因ではなく、教職員の児童・生徒理解の浅さであったり、他の指導方法を持っていないところからくると考えている。

KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



藤本治郎議員

### 学童の虫歯予防について

**問** 学童(12歳児)の虫歯保有数が、大分県は全国ワースト2位、杵築市は県内ワースト5位が長く続いているが、現状を把握しているのか。

**答** 把握している。県も本市にとっても課題である。

**問** 3月議会で「フッ素洗口」の質問してから取組みは。

**答** 校長会と協議した。校長の考えは、保護者に色々な考えがあるので難しい、要望があれば個別に対応したい。

**問** 県として今後の対策は。

**答** 県内の各教育委員会に、姫島の事例等を説明し、「フッ素洗口の推進」に関する要請があった。市としての「フッ素洗口」の対応はどう取組むのか。

**答** 正しい知識や啓発活動が不足している。県も推進している。県主催の説明会や研修会の要望をしている。県教委や歯科医師会と連絡を取り考えていく。

**問** 教育長の想いは。

**答** 学校担当者やそれに従事する教職員の意識改革、地元の歯科医師会の協力をいただき、具現化

していきたい。今までの回答より、一歩進めて啓発していく。

### 杵築中学校建替え計画について

**問** 史跡調査の状況は。

**答** 校舎部分は藩主御殿長屋の礎石・沈下を防ぐ松の杭3本、新たに下層より城の石垣が発掘された。文化庁に1年間の調査結果を提出した。10月より体育館部分を1年間で行う。経過報告は、議会報告や現地説明会を行い市民に知らせる。

**問** 市民としての今後の建設計画は。

**答** 平成28年度中の校舎、体育館完成を目標に進める。現在、教員の意見集約を終え、遺跡を考慮しながら、設計を本年度内に完成する。建設検討委員会開催後、市民に報告する。早期完成に向け最善の努力をする。

**問** 史跡調査の担当課としての、今後の考え方は。

**答** 今月末に文化庁が現地調査を行い、指導を仰ぐ。基本的には、建設計画に沿った形の保存を考えている。

**問** 仮設の武道場の室内温度が高くなる、認識しているのか、また、熱中症対策をどうするのか。

**答** 認識している。天井に断熱材入れているが不十分である。学校関係者と協議の上、エアコンの設置を検討する。



加来 喬議員

## 杵築中学校建設地の再考について

**問** 杵築中学校建設替えに伴う文化財調査で、御殿・長屋門の下層部から文献に残っていない豊臣期の石垣が出土した。歴史の空白を語るこれらの遺構は、杵築市のみならず、日本の歴史を探索上でも非常に貴重な資料だ。出土した文化財の評価は、専門家や文化庁の判断を待ちたいが、調査が長期化すれば杵築中学校建設は先延ばしになる。現地建て替えを決定した当時と状況が異なる今、文化財の重要度が決まった時点でもう一度検討委員会を設置し熟議する考えはないか。

**答** 文化庁の現地調査により文化財の価値・保存の方法等の指導を仰ぐ。建設地を選定する際に試掘調査を行い、貴重な遺構が出る可能性も指摘されたが、各校区での説明会や用地検討委員会の意向も踏まえ、十分な検討を重ねて現地建替えに決めたので変更は考えていない。新しい校舎と体育館は遺構を考慮しながら設計を行っている。

**問** 歴史的価値が高く文献に残っていない遺跡について、市長の認識は。文化庁の指導を待つが、それによって校舎を移転するとい

う気持ちはない。遺構をどのような形で残して後世に伝えるかということが課題と思う。

**問** 文化財保護法27条に、文科省は重要なものを重要文化財に指定することができる。重要文化財に指定された場合、市の意向で保存しない方向で進めることができるのか。

**答** 文化庁の指導で判断する。全国の例を見ても計画変更はあり得るが、基本的に市の意向が主になると思うので、これまで通りの判断をする事になると思う。

**問** 県教育委員会のホームページには「埋蔵文化財は貴重な国民共有の財産であり、可能な限り現状で保存することが望ましい。保存できない場合、発掘調査によって記録を保存すること。特に重要な文化財が発見された場合は、保存について改めて協議が必要」とある。遺構を残さないなら2層にわたって文化財調査と記録保存が必要。文化庁の結論はわからないが、重要度を考えるとこれまで1年間かかった発掘調査が残り1年で終わらない可能性がある。現地建替えの方針を変えないというのは柔軟性を欠いている。早期の中学校建設のためにも文化財の重要度が決まった時点で、もう一度、検討委員会を設置することを強く求める。

KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



堀 寿満議員

## 防災パトロールについて

**問** 7月に行った防犯パトロールで、危険と判断された箇所は、市全体で何カ所か、そのうち大内地区では何カ所なのか。地区名も合わせて伺いたい。

**答** 市内全体の危険箇所の状況は、パトロールの結果、過去に被害が発生した場所、もしくは近い将来に被害が予想される危険度が最も高いAが18カ所、比較的被害の発生する危険度が高いBが4カ所、危険度の低いCが16カ所、合計38カ所である。また、工事が完了し、危険度が解消された箇所は2カ所である。大内地域に関係する危険箇所は4カ所で、大内川側と高山川による水害の恐れがある草場地域、急傾斜地で土砂災害の恐れがある永代橋北側地域である。

**問** 大内地区の4カ所はほとんどが下面であり、一番心配なのは海抜0mの草場、永代橋の住民130戸である。避難場所までは600mは離れており、災害が発生した場合、高齢者の家庭が多く、徒歩での避難はできないため、車を使用して避難することになる。しかし、県道成仏杵築線は幅も狭いため、避難道路としても一日も早い工事の着工をお願いしたい。

**答** 県道成仏杵築線は早くから工事着手してきたがなかなか進まず、平成22年から24年までは用地測量、地質調査、橋梁の基礎調査で、平成25年度からは設計となっている。地元とともに頑張りたい。

## 213号線の防犯灯の設置について

**問** 国道213号線の塩田交差点から北の400メートルは、街灯もなく、部活を行う中学・高校の生徒の保護者は大変心配をしている。1日も早い街灯の設置ができないか。

**答** 塩田交差点から高山橋を渡るまでは、道路が上り坂でカーブもあり、橋には街灯がないため、夜は暗く非常に危ない箇所である。国道213号線を管理する大分県別府土木事務所に地元と一緒に安全確保のため、街灯の設置を要望していきたい。

## 空港道路の斜面の草刈りと水路の掃除について

**問** 空港道路の両側の草刈りや、道路より上部は、水路の管理はできているが、道路より下部、斜面の小段排水や縦排水の草刈りや、清掃はしていないようなので、台風などで大雨が降ると大きな被害が出るのではと心配している。対策は。

**答** 立ち木伐採については、既に空港道路を管理する大分県別府土木事務所をお願いをしているが、地元と一緒に要望していきたい。

## 新議員の紹介

10月6日に執行された杵築市議会議員補欠選挙において  
当選されました2名の議員をご紹介します。



小野義美 議員



二宮健太郎 議員

## 「市民との意見交換会」のお礼

先月の29日から31日の3日間にわたり市内9カ所で「市民との意見交換会」を開催しました。  
全体で203名の皆さまに参加をいただき、誠にありがとうございました。

今年の意見交換会は、昨年と同様に市議会の活動状況を各地域に出向いて市民に直接説明をし、  
市民と市議会の接点として市民の思いをお聴きする機会をつくるために開催をしました。皆さま  
からいただきましたご意見やご要望は議員全員で整理をし、市議会や市政に反映できるように  
努めていきます。

また、いただいたご意見等を執行部にも伝え、回答を取りまとめた後に市民の皆さまに報告さ  
せていただきます。2回目の開催であり、まだまだ至らない点もありましたが、貴重なご意見を  
たくさんいただきありがとうございました。

## 12月定例会日程予定

※正式な日程は議会運営委員会で決定します。

12月 2日 (月)	平成25年第4回定例会開会
12月 5日 (木)	一般質問
12月 6日 (金)	一般質問・議案質疑
12月 9日 (月)	一般質問予備日

12月10日 (火)	産業建設常任委員会
12月11日 (水)	厚生文教常任委員会
12月12日 (木)	総務常任委員会
12月17日 (火)	平成25年第4回定例会閉会

広報広聴副委員長 西 紀子

朝から元氣の出るドラマ「あ  
まちゃん」が9月で終了。「じえ  
じえ」旋風が全国に波及し、  
ドラマの曲は夏の甲子園でも応  
援歌として使われていた。  
舞台となった岩手県久慈市の  
袖が浜海岸は「あまちゃん」ブー  
ムでかつてない観光客が押し寄  
せていた。久慈市も東日本大震  
災で津波の被害を受けた地域で  
ある。復興に向け頑張っていた  
中、このドラマがみごとに復興  
の役目を果たした。夏場の観光  
地だけにドラマが終わった後の  
観光客誘致にどう取り組んでい  
くのが大事であろう。

さて、来年のNHKの大河ド  
ラマでは「軍師官兵衛」が放  
映される。各自自治体はアイデ  
アを出し、PRに懸命である。  
なんと杵築市も官兵衛ゆかり  
の地で関ヶ原の戦いが行われ  
た1600年、黒田官兵衛が  
大友軍からの猛攻に耐える杵  
築城を助けに来たときに船を  
つないだ巨石「孝高石」が今  
も残っている。

そこで杵築市も「孝高石」の  
由来と杵築城の関係を記した案  
内板を設置することになった。  
「軍師官兵衛」の視聴率次第で  
観光客は足を運ぶが、その前に  
杵築市を大いに宣伝することが  
大事ではないだろうか。

編集後記